

フクシマの子どもの未来を守る家ニュース

No. 70 (2021年11月吉日発行)

～南相馬市より、感謝状をいただきました！

謹啓 深秋の候 益々ご清米のこととお慶び申し上げます。

平成二三年三月十一日。東日本大震災は、かけがえのない大切な人や思い出が刻まれた家、美しい風景を一瞬にして奪い去りました。さらに、原発事故によって多くの市民が住み慣れたふるさとを追われ、慣れない土地での避難生活を余儀なくされました。

途方に暮れたあの日から十年。私たちが前を向き、一步一步、歩み続けていくことができたのは、皆様から寄せられた温かい励ましのおかげです。節目の年を迎え、ここに市民を代表して感謝状を贈らせていただきます。本来であれば直接お渡しし、感謝の想いをお伝えすべきところでございますが、このようなかたちになりましたこと、何卒ご容赦ください。

新型コロナウイルスが収束し、皆様に気兼ねなくお越しいただける環境が整いましたら、あらためてご案内させていただきます。その際には、ぜひ当市の復興の歩みをご覧いただきたく存じますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

まずは略儀ながら書中をもちましてご挨拶とさせていただきます。

令和三年十一月三日

南相馬市長 門馬 和夫

謹白



ありがとうございました！

(メッセージは、南相馬市議会議長 中川庄一様よりも頂いています)

～ご案内～

子どもの貧困学習会

日時：11月15日(月)

19:00～20:30

会場：第3 コミセン
防災会議室

講師：長谷川剛さん

(鶴岡市議会議員)

※「守る家」は、2011年から福島原発事故被災親子の支援をしてきましたが、その活動と平行して、2020年11月より、鶴岡市在住の生活困窮家庭の子ども達への食糧や衣類等の支援活動も行っています。

改めて、今社会問題となっている「子どもの貧困」について皆様と一緒に学びたいと思います。

お問い合わせをご参加ください！

鶴岡市子どもの学習支援事業を運営する、鶴岡母子会さんよりお誘いあり、「山形県母子寡婦福祉連合会主催:そば打ち&研修会」(10/31)に「守る家」から2名がゲストとして参加、蕎麦打ちを初体験しました！



村山地区の会員さん達による芋煮(内陸風)や漬物も！



熱心にそれぞれの地域の活動について交流する、県内各地から集まった「母子・寡婦の会」の皆さん
会場:村山市農村文化伝承館

トリチウムを含む ALPS 処理水の海洋放出方針の再検討を求め署名を集めています。

お問い合わせ先

フクシマの子どもの未来を守る家事務局

080-5733-8090

yuko_kaiousei1956@yahoo.co.jp